



プロジェクションカーテシイルミ

取付要領書

品 番

LEXUS	0852D-46010
F SPORT Performance	0852D-46020

構成部品

No.	品 名	品 番	個数	
			0852D-46010	0852D-46020
①②	プロジェクションカーテシイルミ (識別記号[ア6])	0852D-48081	2	-
③	ドアハーネス	——	2	2
④	プロジェクションカーテシイルミ (識別記号[1D])	0852D-48101	-	2
⑤	スポンジテープ	——	1	1
	クランプ	——	14	14

取り付けに必要な工具・部品等

一般工具、モールディングリムーバー、クリップリムーバー、ニッパー、ハサミ、メジャー（布）、スケール、保護テープ、ビニールテープ

取り付け上の注意事項

この取扱要領書では安全な作業をしていただく為、特にお守りいただきたいことを次のマークで表示しています。

⚠ 注意 … 注意事項を守らないと事故につながったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがあります。

☞ アドバイス … スピードーに作業をしていただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

- (1) 車を水平な場所に停車してパーキングブレーキを引き、輪止めを確実に行ってください。
- (2) 下回り作業中は安全に配慮し、エンジン始動及び乗車は絶対にしないでください。
- (3) 車両部品の取りはずしに際しては、タッピング・スクリューやボルト、ナット類を紛失しないよう部品毎に整理し、復元作業時には間違いのないように配慮してください。また、車両及び取りはずした部品に傷を付けないよう取り扱いには十分注意してください。
- (4) バッテリー復元作業終了後、車両機能部品に初期化が必要な部品がありますので、作業終了後は必ず初期化作業を行ってください。
- (5) 貼り付け面に油脂分や汚れが付いていると脱落、剥がれの原因になりますので、脱脂剤等で十分に拭き取り、脱脂してください。
- (6) 脱脂剤等を使用する場合は、火気に十分注意してください。

取り付ける前に

- バッテリーの(-)側ケーブルをはずす



部品の取り付けは

- 寸法にあった工具を使う



- 裏側に注意し、ハーネス嗜み込みに注意する



配線は

- コネクターは本体を持ってはずす



- 車両ハーネスとまとめたり、クランプを使用して固定する



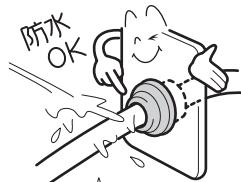
- コネクターは確実に接続する



- 無理に引っ張らない



- グロメットから配線する場合は、防水処理を完全にする



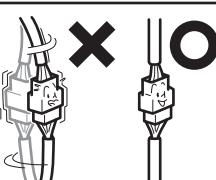
- 車両部品が確実に復元できるようハーネスを処理する



クランプは

- クランプは締めすぎない

- 余った部分をカットする



- カットした端末が他のハーネスと接触しないようにする

- コネクターを異音がないようにクランプする

- カットした端末が鋭利にならないようにカットする(ケガ防止)

取り付け完了後は

- 車両部品は確実に復元



⚠ 注意

バッテリー接続中に作業を行う場合は、エアバッグセンサー等に衝撃を与えないよう十分注意してください。

始業点検

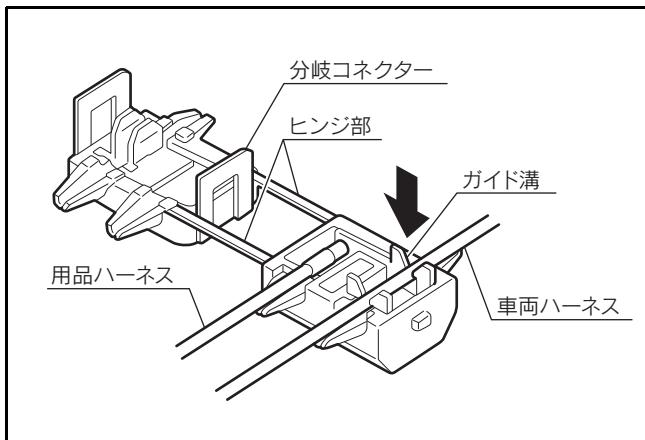
ドアミラー・ドアロック・パワーウィンドウ等、電気系統の作動確認を実施してください。

分岐コネクターの接続方法

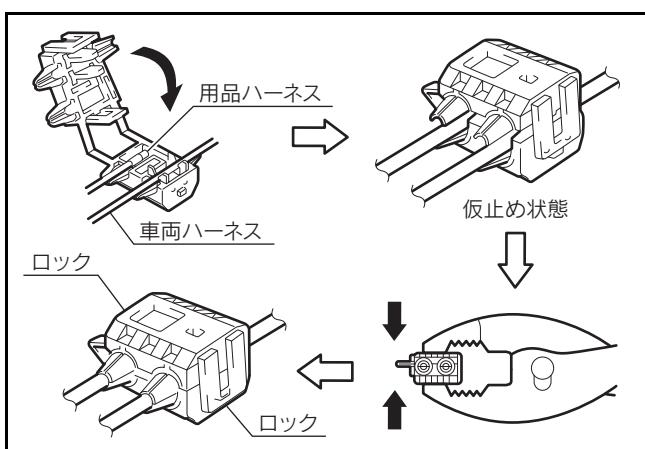
分岐コネクター使用上の注意事項

- (1) 車両のビニールチューブ等をカットする際は、車両ハーネスを傷付けないように十分注意してください。
- (2) 分岐コネクターは、他の用品が装着されている場合でも必ず車両ハーネスに接続してください。
- (3) 分岐コネクター接続時に、クリック音と合わせてロック（2箇所）が確実に嵌合したことを確認してください。
- (4) 接続するコネクターの端子番号及び用品ハーネスと車両ハーネスの線色を確認し、誤った接続をしないよう十分注意してください。
- (5) 同一コネクターに複数の分岐コネクターを接続する場合は、接続位置をずらしてください。
- (6) ヒンジ部が破損しても確実にロック（2箇所）できれば性能上問題ありません。
- (7) 一度使用した分岐コネクターは再使用しないでください。誤って接続した場合、分岐コネクターを車両ハーネスに付けたまま用品ハーネスを切断し、ビニールテープで絶縁処理をしてください。

分岐コネクターの接続手順

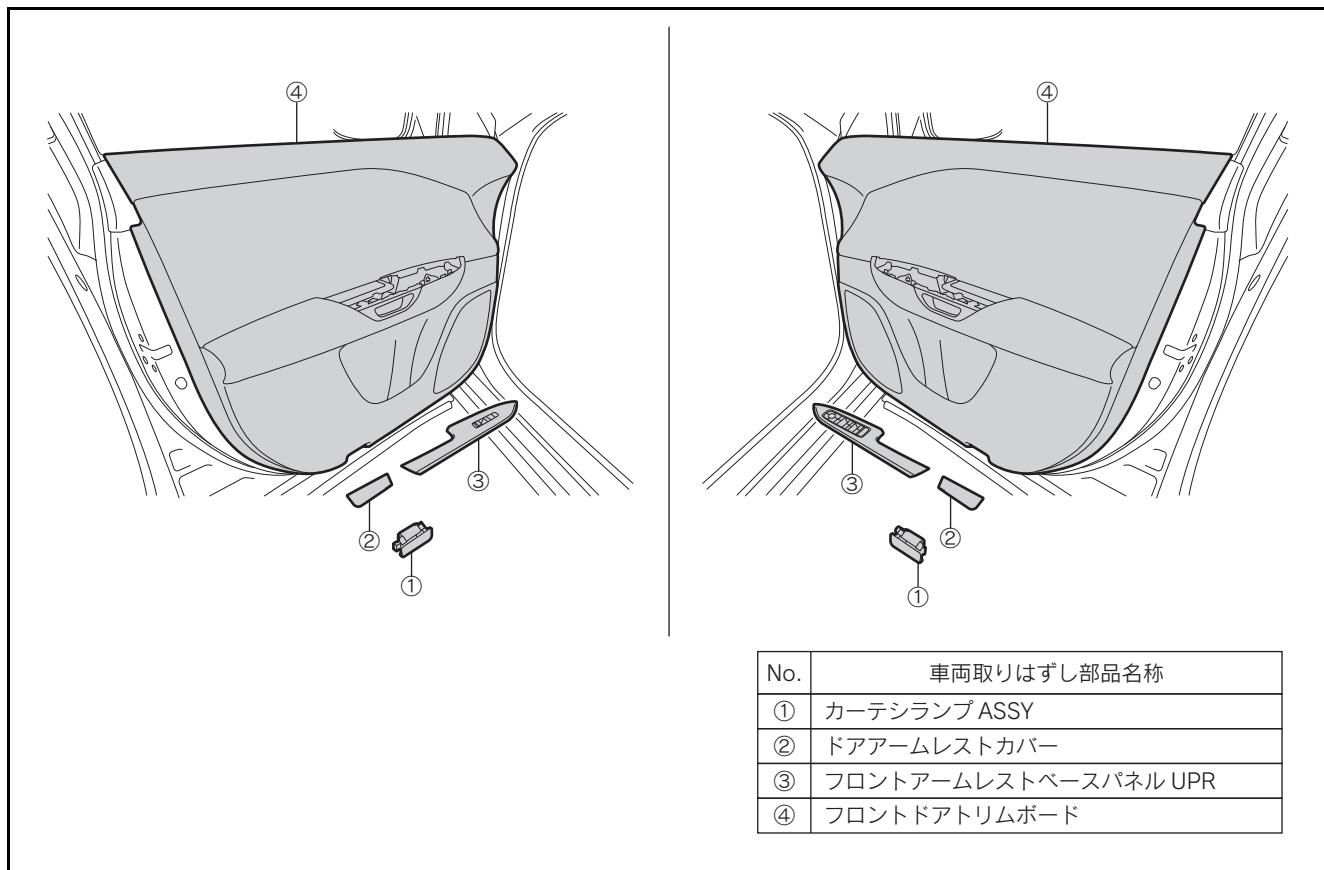


1. 接続する車両ハーネスがビニールチューブ及びビニールテープで覆われている場合は、適量をカットしてください。
2. 接続する車両ハーネスを確実にガイド溝へ挿入してください。

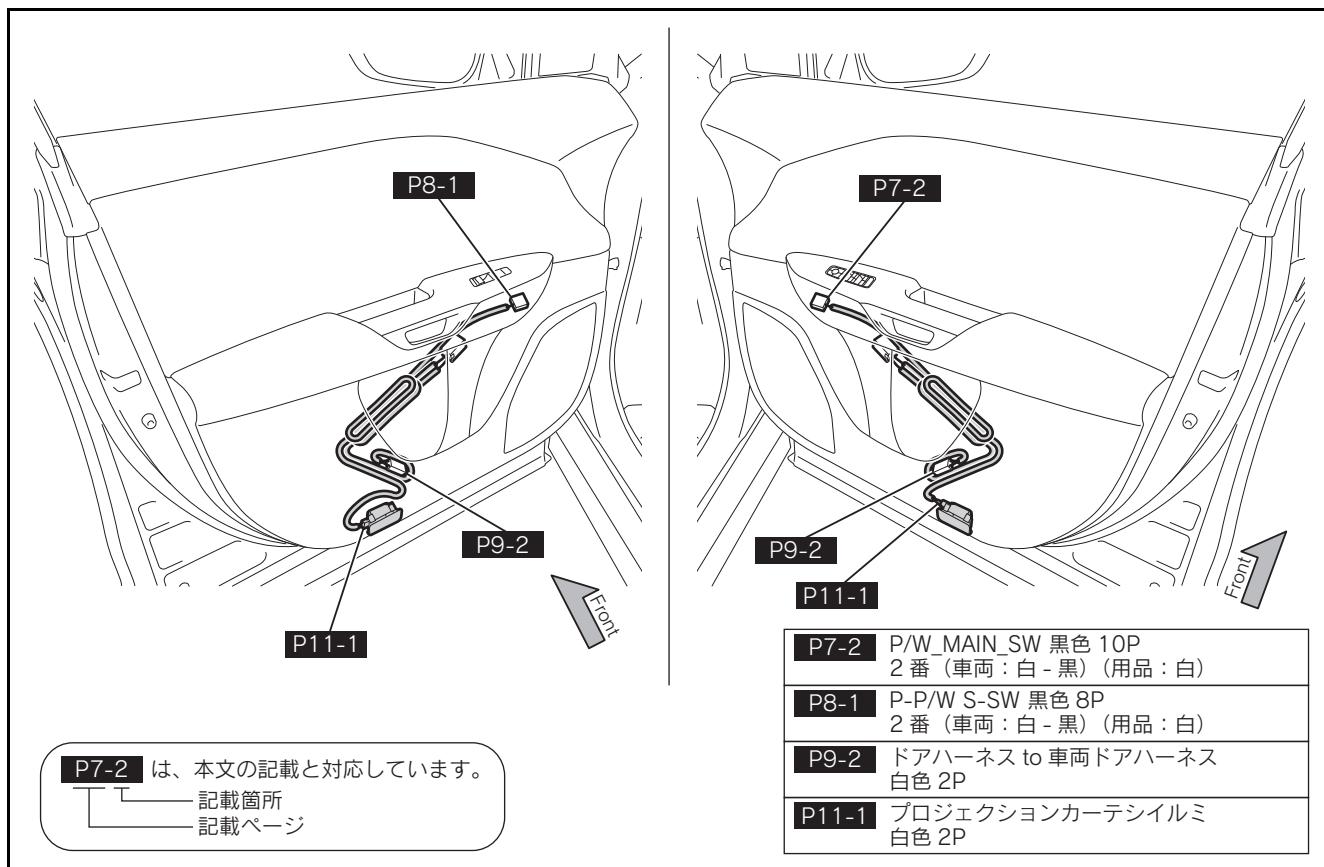


3. 車両ハーネスをガイド溝に収めた後、分岐コネクターを折り返し仮止め状態を作り、プライヤー等の工具を使用して左右のロックがかかるまで確実に挟み込んでください。
(クリック音を確認)
4. 分岐コネクターの異音防止の為、ビニールテープを巻いて処理してください。

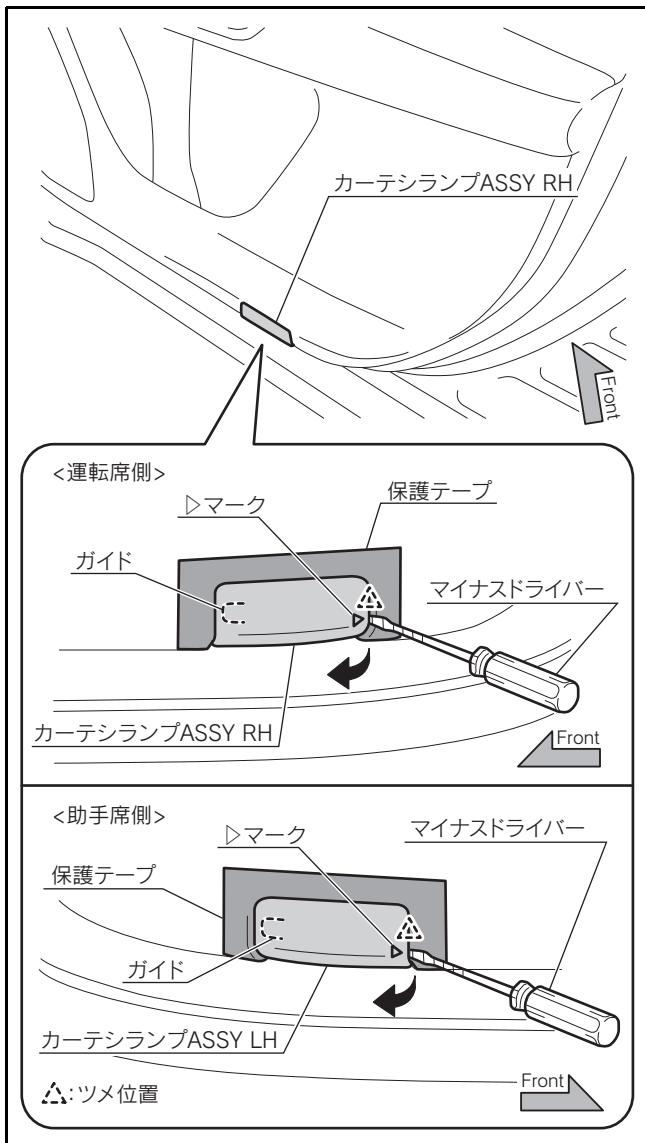
車両部品の取りはずし概要



配線概要



車両部品の取りはずし要領

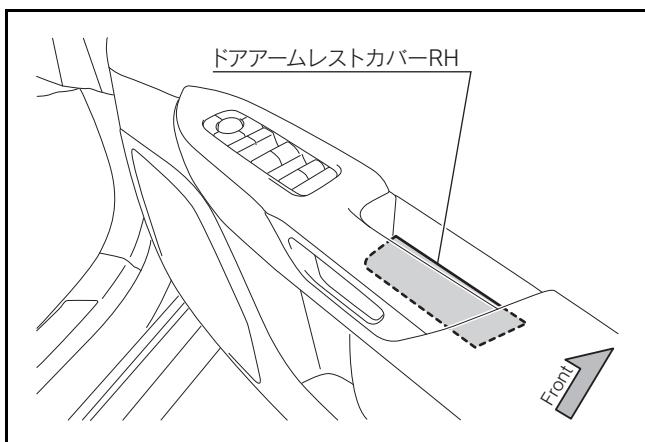


カーテシランプASSY の取りはずし

- カーテシランプASSY RH の周りに傷付き防止用の保護テープを貼る。
- 保護テープを巻いたマイナスドライバーを使用してツメの嵌合をはずし、カーテシランプASSY RH を取りはずす。
- 同様にカーテシランプASSY LH を取りはずす。

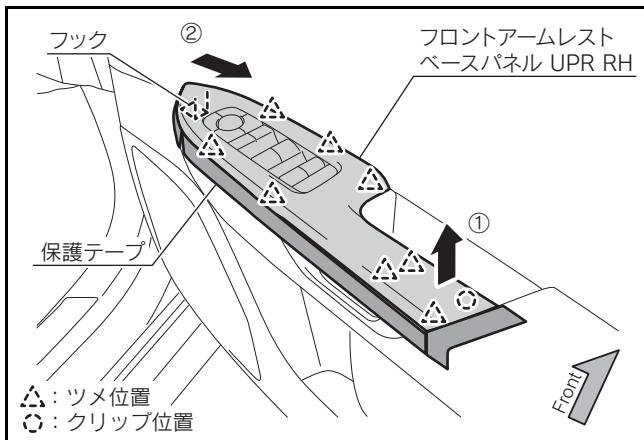


「△マーク」が付いている方からマイナスドライバーを差し込んでください。



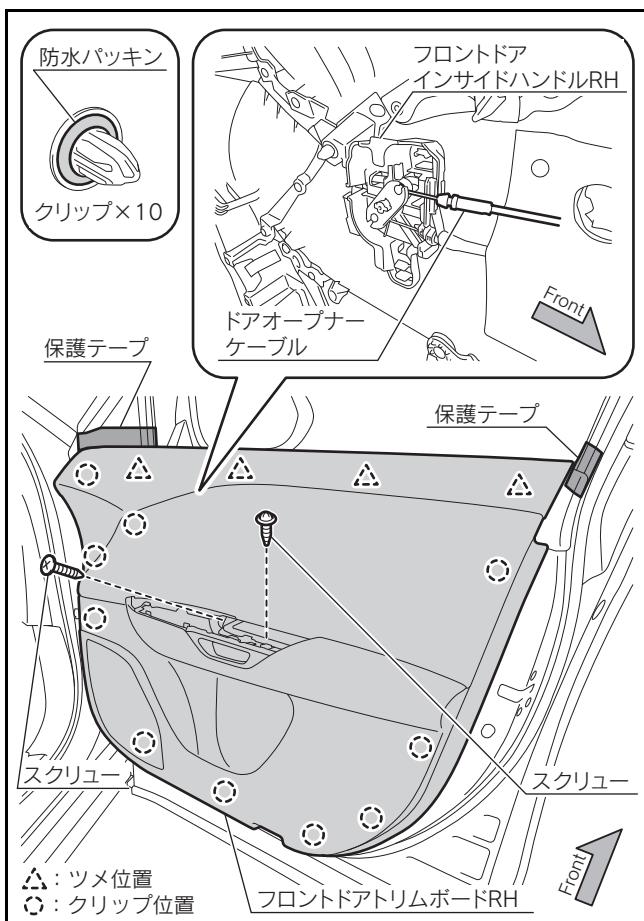
ドアアームレストカバーの取りはずし

- ドアアームレストカバー RH を取りはずす。
- 同様にドアアームレストカバー LH を取りはずす。



フロントアームレストベースパネル UPR の取りはずし

- フロントアームレストベースパネル UPR RH の周りに傷付き防止用の保護テープを貼る。
- ①の方向に引きクリップ（1箇所）、ツメ（8箇所）の嵌合をはずす。
- ②の方向に引きフックの嵌合をはずし、フロントアームレストベースパネル UPR RH を取りはずす。
- 同様にフロントアームレストベースパネル UPR LH を取りはずす。

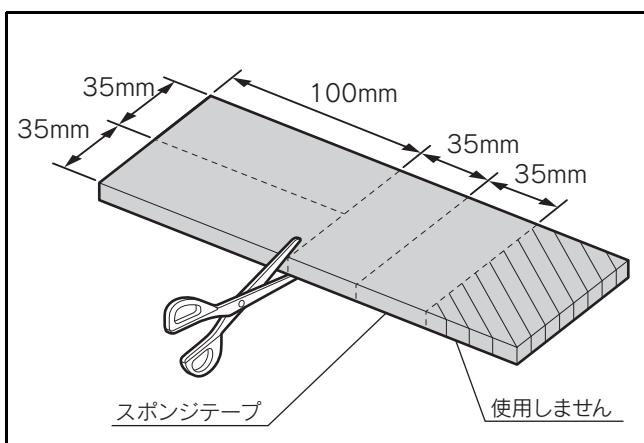


フロントドアトリムボードの取りはずし

- 図に従い、ドアパネルのガラスフレーム部に傷付き防止用の保護テープを貼る。
- スクリュー（2本）、クリップ（10箇所）、ツメ（4箇所）の嵌合をはずす。
- フロントドアインサイドハンドル RH からドアオープナーケーブルをはずし、フロントドアトリムボード RH を取りはずす。
- 同様にフロントドアトリムボード LH を取りはずす。

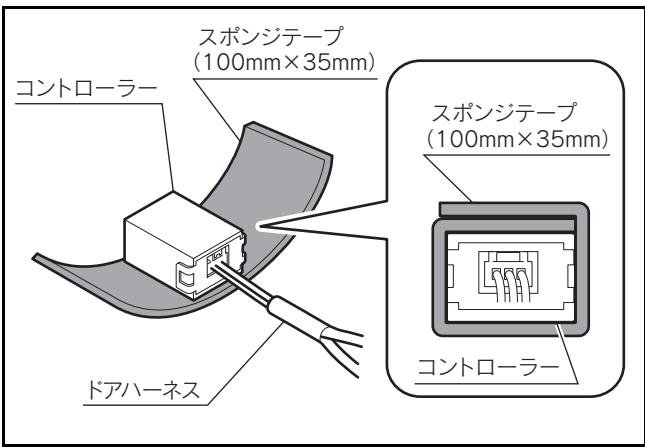
！注意

- クリップの防水パッキン脱落に注意してください。
- クリップの防水パッキンがドアパネルに貼り付いている場合は、クリップ側に付け直してください。



スponジテーpのカット

- 図に従い、スponジテーpをカットする。



アドバイス

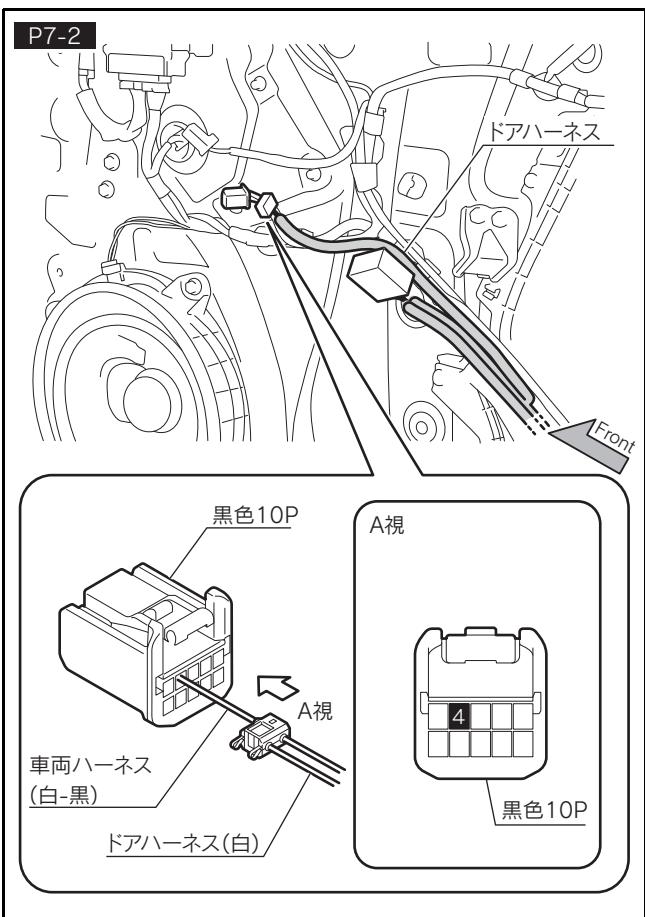
本ページ「スポンジテープの巻き付け」から 11 ページ「プロジェクトショナーテシイルミの取り付け」までは、「分岐コネクターの接続」を除き、 LH 側（助手席側）も同様に作業してください。

スポンジテープの巻き付け

- カットしたスポンジテープ (100mm×35mm) をドアハーネスのコントローラーに巻き付ける。

注意

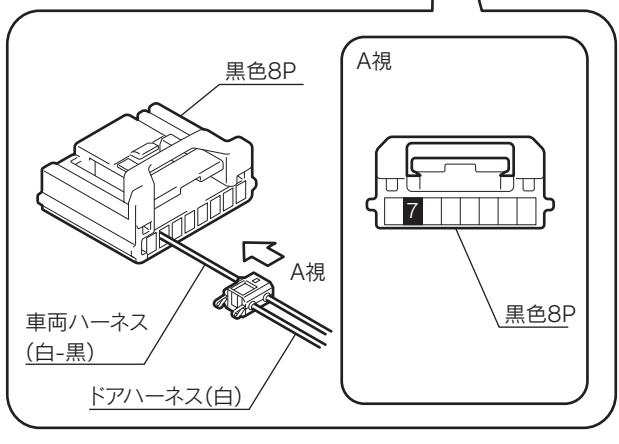
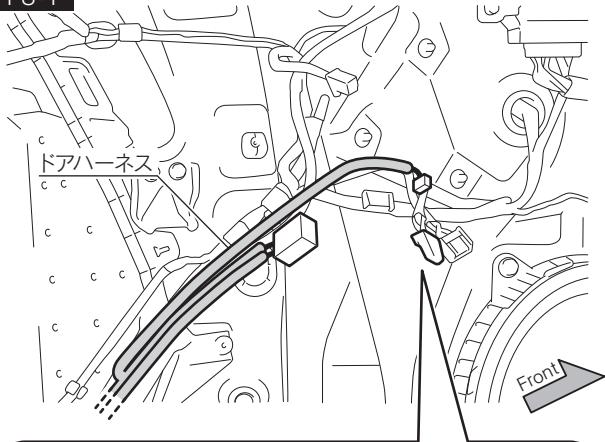
以降の作業では、コントローラーを車両部品にぶつけないように作業をしてください。



分岐コネクターの接続（運転席ドア）

- 図に従い、取り出した黒色 10P コネクター（メス）にドアハーネスの分岐コネクターを接続する。
車両：4 番（白 - 黒） ← 用品：白

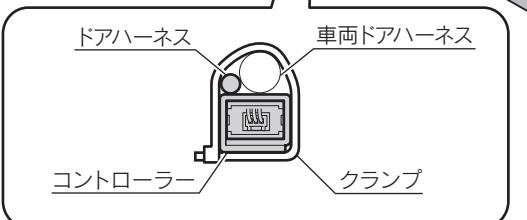
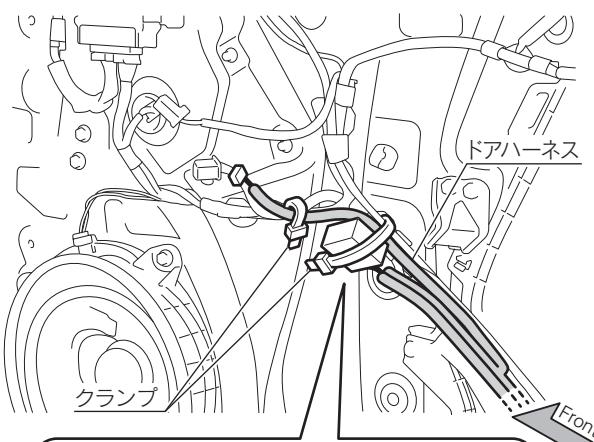
P8-1



分岐コネクターの接続（助手席ドア）

- 図に従い、取り出した黒色8Pコネクター（メス）にドアハーネスの分岐コネクターを接続する。

車両：7番（白 - 黒） ←用品：白

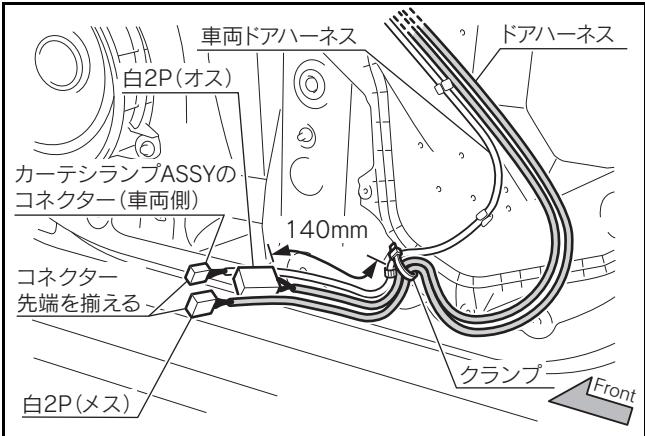


ドアハーネスの固定

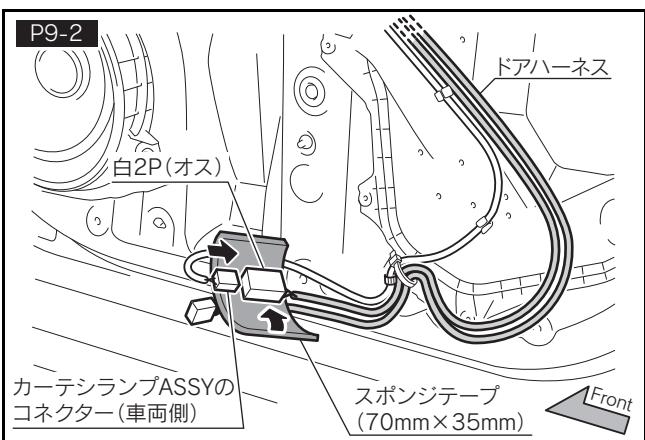
- 図に従い、ドアハーネスを配線して、クランプで車両ハーネスに固定（2箇所）する。

注意

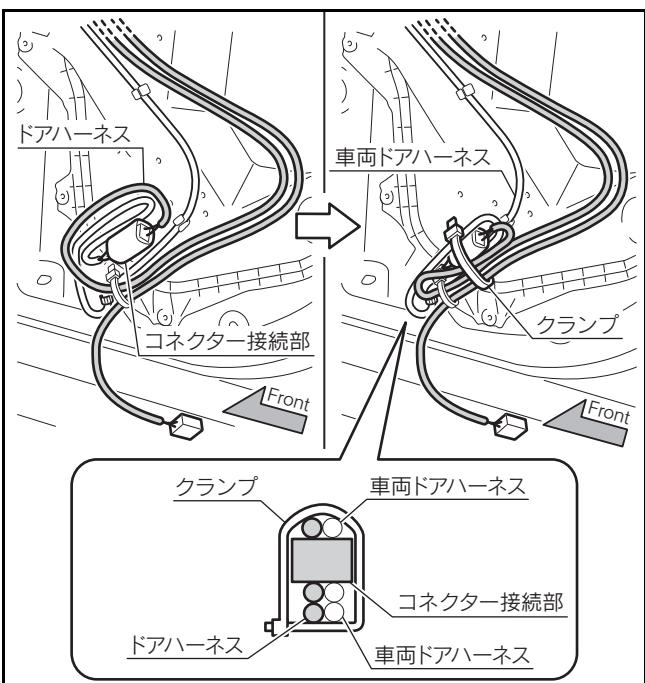
ドアハーネスのコントローラーは車両ドアハーネスの下側に固定してください。



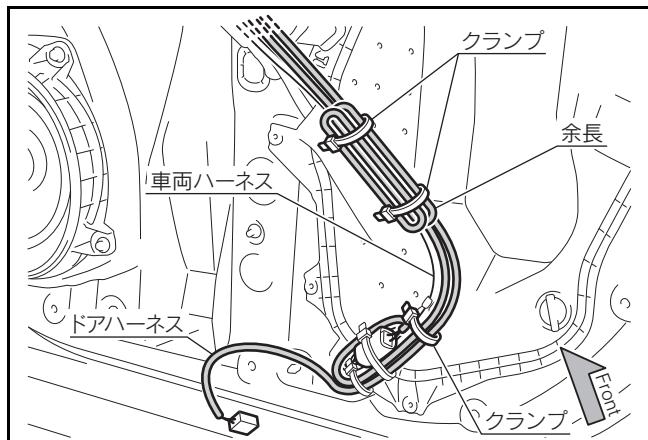
2. ドアハーネスの白色 2P コネクター（オス）および白色 2P コネクター（メス）を図に示す寸法まで引き出し、図の位置にクランプで固定する。



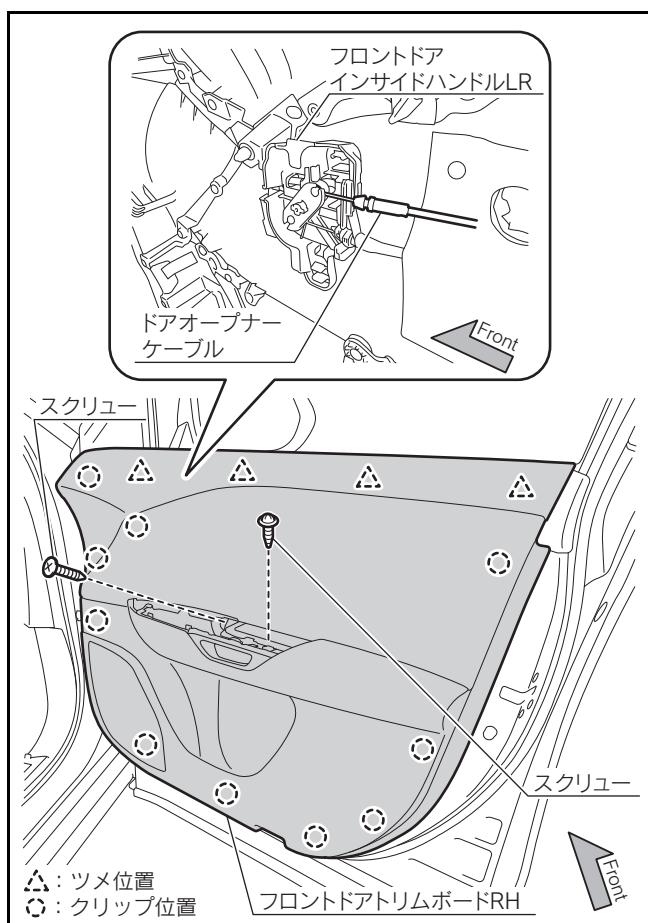
3. 図に従い、ドアハーネスの白色 2P コネクター（オス）とカーテシランプ ASSY のコネクター（車両側）を接続し、カットしたスポンジテープ（70mm×35mm）を貼り付ける。



4. 図に従い、コネクター接続部をクランプで車両ハーネスに固定する。



5. 図に従い、ドアハーネス及びドアハーネス余長分をクランプで車両ハーネスに固定（3箇所）する。



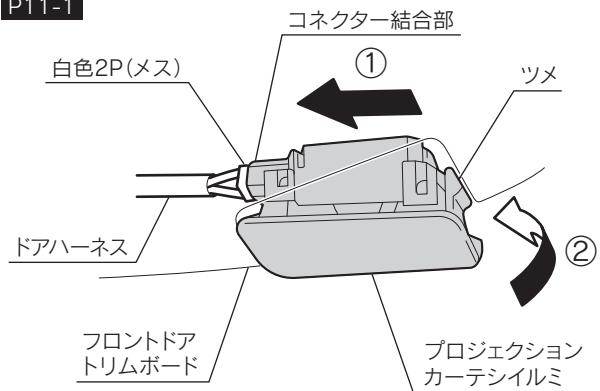
フロントドアトリムボードの復元

- 取りはずしと逆の手順でフロントドアトリムボード RH を復元する。



フロントドアトリムボード RH を復元する際、ドアハーネスを挟み込まないようにしてください。

P11-1



プロジェクションカーテシルミの取り付け

- ドアハーネスの白色2Pコネクター(メス)をプロジェクションカーテシルミに接続する。
- プロジェクションカーテシルミをフロントドアトリムボードに取り付ける。

注意

プロジェクションカーテシルミのツメの位置を確認し、カーテシランプASSY取りはずしと逆の手順で取り付けてください。

アドバイス

コネクター結合部側を先にフロントドアトリムボードに差し込み、ツメ側を嵌合させるとスムーズに取り付けることができます。(①→②の手順)

作動確認

1. 取り付けの確認

作動確認の前に、配線や取り付けに異常がないことを確認してください。

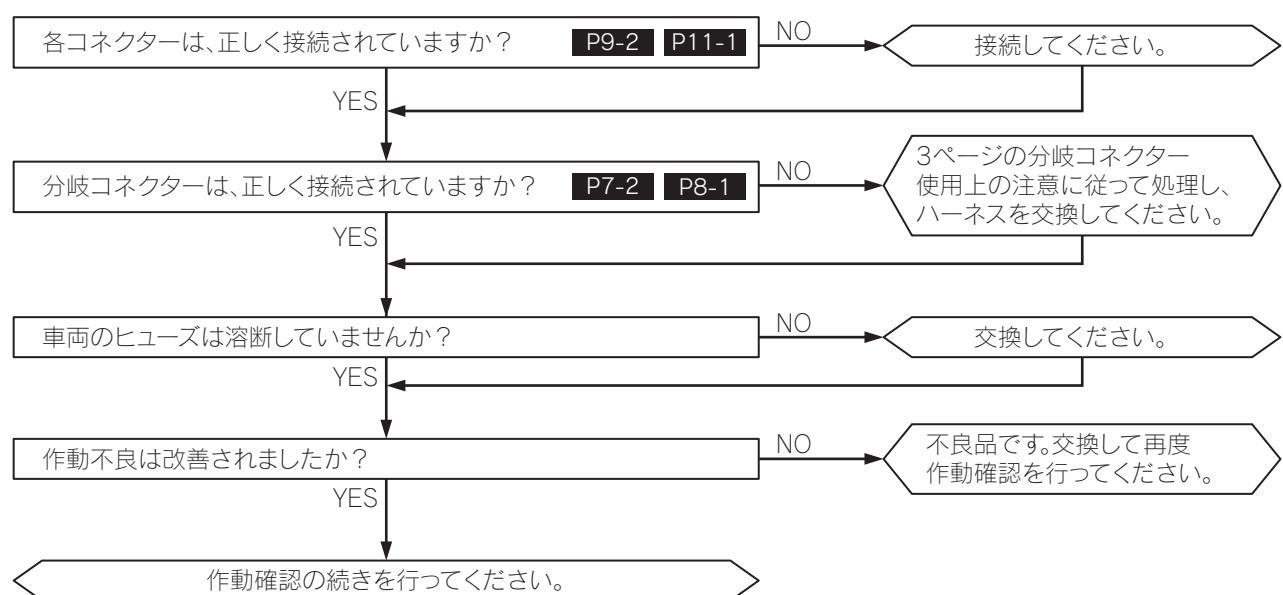
2. 作動確認

車両の運転席ドア、助手席ドアの開閉に連動して作動することを確認してください。

また、作動不良が発生した場合は、トラブルシュートに移り、点検を実施してください。

ドア	プロジェクトショナーテシイルミ
開	点灯
閉	消灯

トラブルシュート



復元作業

「作動確認」完了後、取りはずした車両部品を下記の点に注意し、元通りに取り付けてください。



注意

復元作業は、車両ハーネス及び用品ハーネスの噛み込みや、車両部品の損傷に十分注意してください。

バッテリー復元時の注意事項

バッテリー復元作業終了後に、車両システムによっては初期化が必要な場合があります。

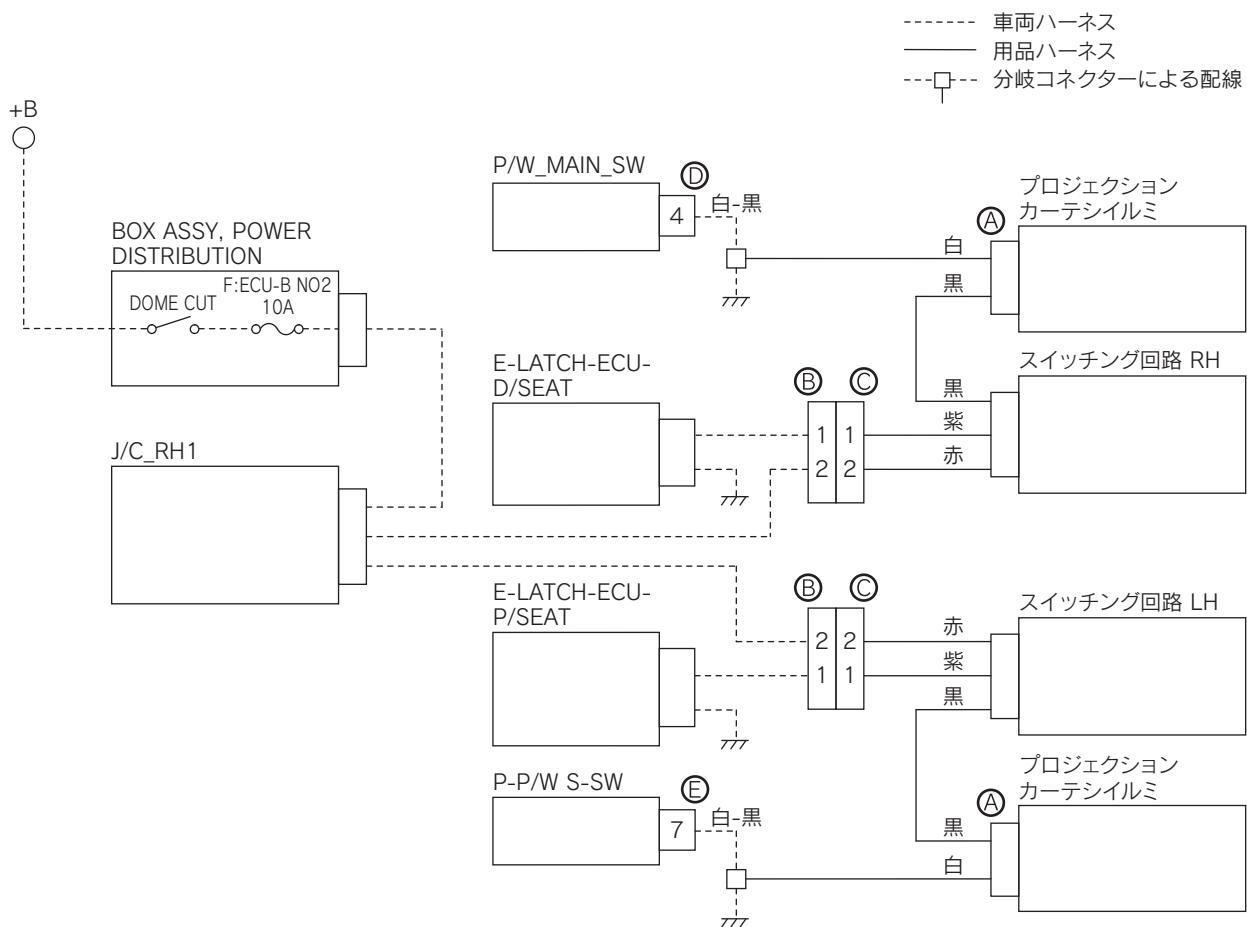
車両修理書を参考に初期化作業を行ってください。

※ 車両システムの初期化には、GTS+ 等のツールが必要な場合があります。

最終確認

- ハーネス類の噛み込み及び車両部品の取り付けミスがないかもう一度確認してください。
- ドアミラー・ドアロック・パワーウィンドウ等、電気系統に異常がないか確認してください。

配線図



コネクター番号

Ⓐ



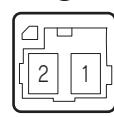
P11-1

Ⓑ



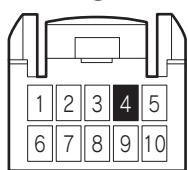
P9-2

Ⓒ



P9-2

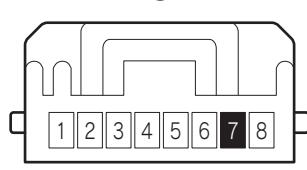
Ⓓ



(分岐コネクターによる配線)

P7-2

Ⓔ



(分岐コネクターによる配線)

P8-1